

深山第二砲台跡

ここは深山第二砲台のあった場所です：この砲台は、大阪湾に続く戦略的に重要な水路を守るために、1890 年代初頭に深山に建設された 5 座の砲台の 1 つでした。深山砲台は後に紀淡海峡全体に広がる一連の防御要塞である由良要塞に正式に組み込まれました。由良要塞には、ここ深山の砲台に加えて、海峡の向こう側の端にある淡路島の由良にある砲台と、海峡の真ん中にある島群、友ヶ島の砲台が含まれていました。

1945 年に解体されるまで、深山第二砲台には 6 門の 28cm 榴弾砲がありました。それらは 3 組に分かれており、各組には 2 つの砲座が置かれていました。榴弾砲はこの場所のすぐ後ろ、現在のホテル跡地に設置されていたと考えられています。現在、元の砲台の名残は、この 1 つの地下弾薬庫だけです。老朽化のため中に入ることはできません。